# （仮称）余呉南越前第一・第二ウィンドファーム発電事業
# 住民説明会

令和8年4月

株式会社グリーンパワーインベストメント

※弊社の許可無く複製・転載・配布しないようお願い申し上げます。



Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 目次


1 会社概要

2 ベルク余呉スキー場の経緯・対応状況

3 事業計画概要

4 環境アセスメントの対応状況


Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

Green Power Investment Corporation

# 01

# 会社概要



Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 会社概要

| | |
|---|---|
| **会社名** | **株式会社グリーンパワーインベストメント<br>Green Power Investment Corporation（GPI）** |
| 本所在地 | 東京都港区赤坂1-11-44　赤坂インターシティ　9階 |
| ホームページ | https://greenpower.co.jp/ |
| 代表取締役社長 | 坂木　満 |
| 創業 | 2004年9月1日 |
| 事業内容 | 再生可能エネルギーによる発電を含む発電事業全般 |
| 株主 | NTTアノードエナジー株式会社、株式会社JERA、幸村 展人 |

- 当社の創業者（堀）は国内外で風力発電を広めた先駆け的存在です。
- 経営陣は国内外で30年以上の再生可能エネルギー事業に関する経験や実績があります。

**創業者および役員一覧**

| 創業者 | 代表取締役社長 | 代表取締役副社長 | 取締役　顧問 |
|---|---|---|---|
| 堀　俊夫 | 坂木　満 | 幸村　展人 | マーク アンダーソン |
| 専務執行役員 | 専務執行役員 | 専務執行役員 | 常務執行役員 |
| 吉崎　昭一 | 三橋 慶之 | 青山 伸昭 | 松岡 正明 |

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# グリーンパワーインベストメントについて

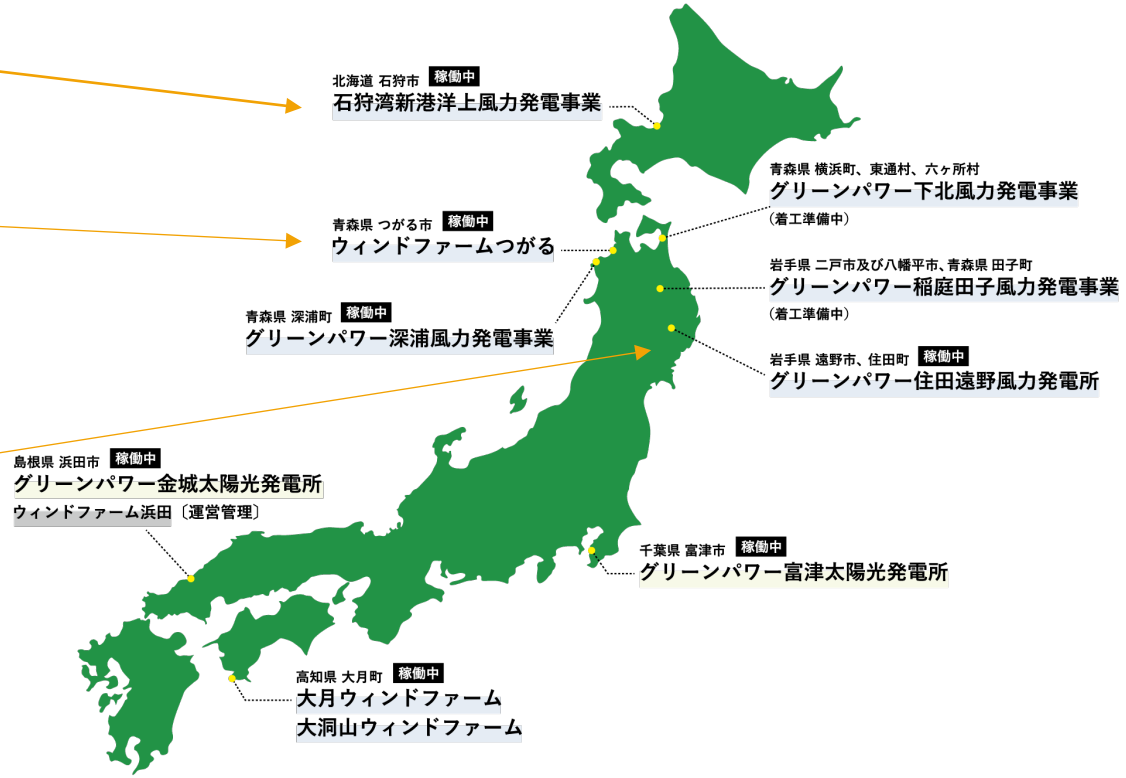
- 日本各地に事業所を置き、**風力・太陽光発電所を操業**しています。
- 再生可能エネルギーの普及を通じて各現場で**地域振興**にも取り組んでいます。

**【商業ベースの大規模洋上風力】**
石狩湾新港洋上風力発電所（112,000kW）
※2024年1月商業運転開始

**【陸上風力で日本最大級】**
ウィンドファームつがる（121,600kW）
※2020年4月商業運転開始

**【岩手県で最大級】**
グリーンパワー住田遠野（113,400kW）
※2023年5月商業運転開始

その他にも、全国で再生可能エネルギーの事業開発に取り組んでおります。




出展: https://greenpower.co.jp/businessoverview/

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 主な事業実績紹介



高知県：大月ウィンドファーム
（12,000ｋW）2006年11月商業運転開始



高知県：大洞山ウィンドファーム
（33,000ｋW）2018年3月商業運転開始



青森県：ウィンドファームつがる
（121,000ｋW）　2020年４月商業運転開始



岩手県：グリーンパワー住田遠野風力発電所
（113,400ｋW）　2023年5月商業運転開始



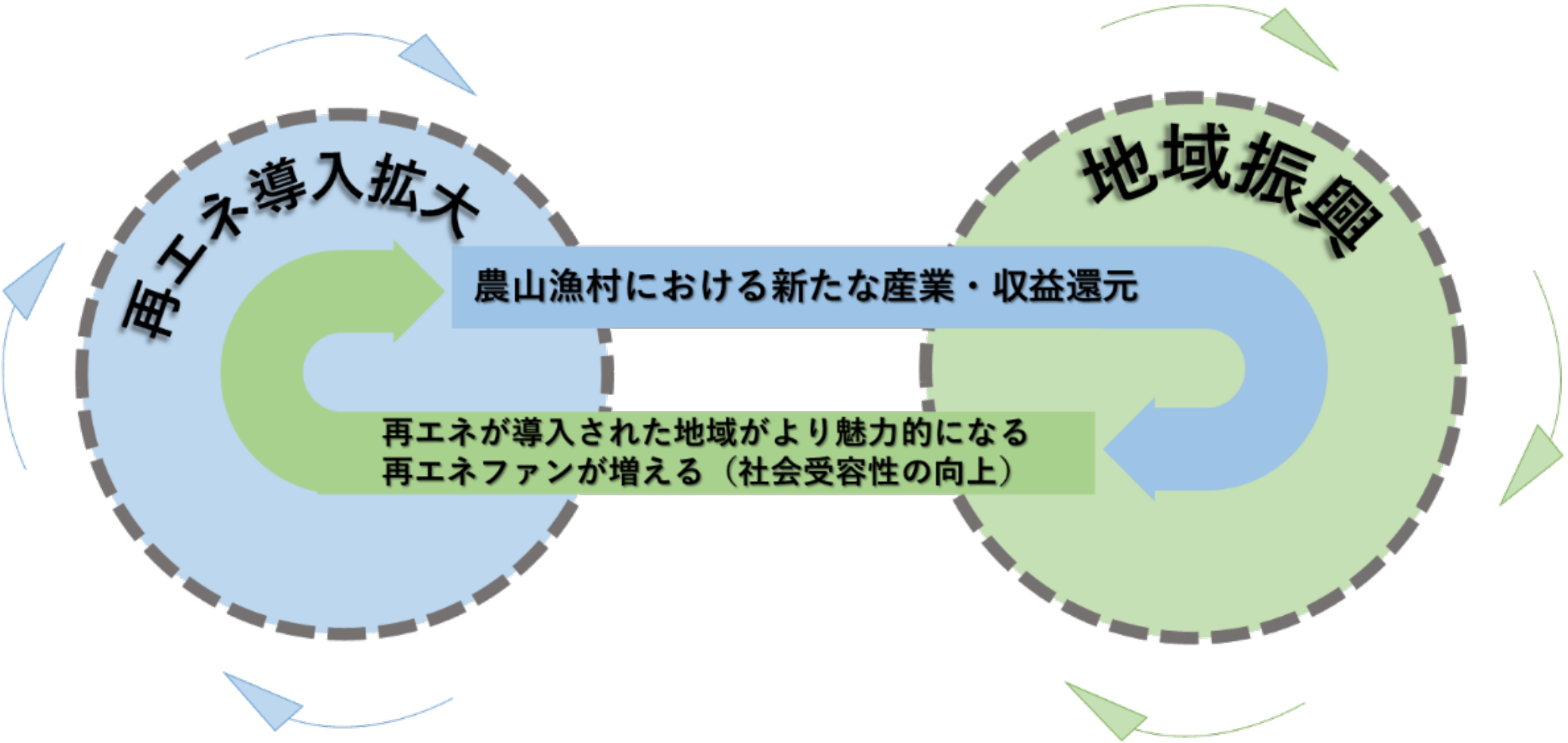
青森県：グリーンパワー深浦風力発電所
（79,800ｋW）　2024年2月商業運転開始



北海道：石狩湾新港洋上風力発電所
（112,000ｋW）2024月1月　商業運転開始

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

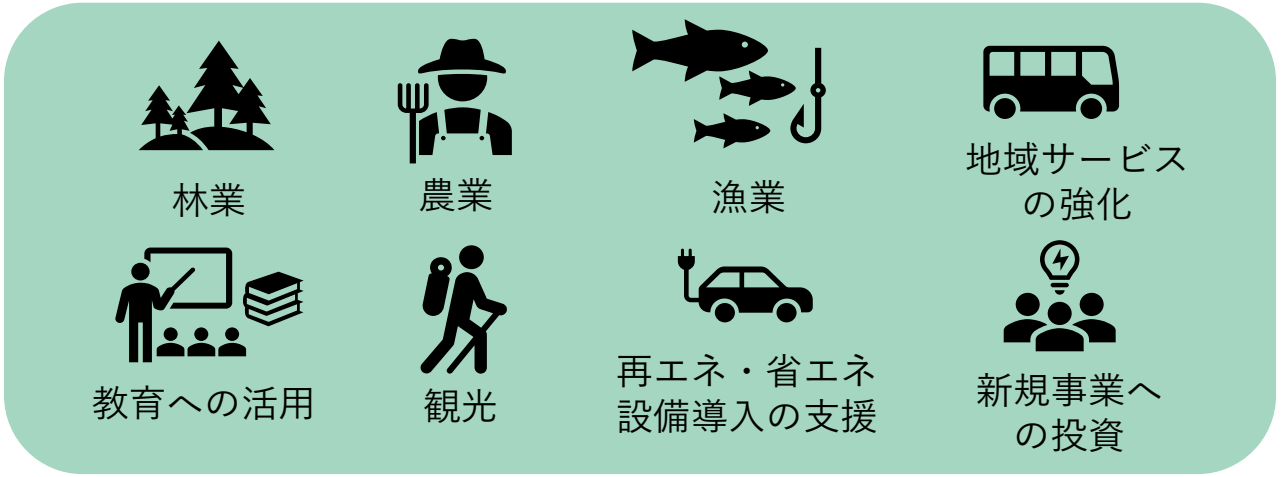
# GPIが目指す地域との協働




Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 再エネ普及を通した地域との連携

- 地域の特性を生かした地域振興に役立てられるよう、売電収入の一部を活用します。
- 発電所に勤務する社員と専門チームが地域の各主体と協働して地域振興に取り組みます。




**再生可能エネルギーの導入によって、経済活動と人材や資源を地域で循環させる**

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 地域振興策に取り組む視点

３つの視点で地域振興策に取り組んでいます。

## 産業



市産材の製品化や販路開拓による林業振興（島根県）

- **既存産業の活性**
- **新規事業の構築**
- **スモールビジネスの立ち上げ**

## 脱炭素



再エネ導入計画策定検討会への参画（青森県）

- **自治体計画づくりの支援**
- **導入支援（振興策を通じたCO2削減）**

## 普及啓発



再エネや風車に関する授業での教育機関との連携（全国各地）

- **環境教育**
- **エネルギー教育**
- **地域教育**
- **キャリア教育**

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 地域振興に関する取り組み事例①



市産材を使った積木の寄贈



老朽化した金城中学校の駐輪場を改修



水耕栽培施設の様子



東京でのメロン販売イベント（つがる市主催）への協力

**＜林業振興＞**

**ウィンドファーム浜田（島根県浜田市）**

- 島根県浜田市の企業版ふるさと納税「木育推進事業」の一環で、浜田市弥栄中学校から杵束保育園へ市産材を使った積木の寄贈
- 地元の木材を使用した浜田市金城中学校の自転車駐輪場と生徒指導室の校舎改修を実施

**＜農業振興＞**

**ウィンドファームつがる（青森県つがる市）**

- つがる市の名産品の1つでもあるメロンの通年栽培を目指した水耕栽培実証試験事業に活用
- 特産品の生産基盤強化やブランド推進とともに、農業生産の過程で生じる資源を活用した持続可能な農業を目指す

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 地域振興に関する取り組み事例②



発電所の一般開放の様子




土産品の例



WFつがるでの小学生の
風車見学受け入れ



地元の高校での出前授業

**＜観光振興・教育振興＞**

**大洞山ウィンドファーム（高知県大月町）**

- 町役場、観光協会、道の駅と連携し、風力発電所施設内を見学するツアーやイベントの企画・運営、土産品の開発などの取組みを実施
- 風車の観光資源化による関係人口の増加や域内経済循環の仕組みを作ることを目指す近隣地域の学校関係者向けの地域や環境に関する出前授業の実施

**＜教育振興＞**

**各事業地等での教育連携**

- 地域の教育機関等とエネルギー教育やキャリア教育の観点で連携し、出前授業や発電所の見学などを実施
- 地域の資源や地元にある産業について、発電所や再エネを通して、学生の皆さんに知っていただくための機会を提供

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 地域振興に関する取り組み事例③



社内販売の実施




大月町での青森産リンゴの販売



伝統行事への参加（岩手の裸参り）



除雪や除草活動に地域の一員として参加（各事業地）

**各地の特産品の社内販売**

・事業を行う地域の特産品の社内販売会を開催

**各地の道の駅をつなぐ活動**

・各地の道の駅を繋ぎ自発的な産品交流を促進

**地域行事・活動への参加**

・各地のイベント、伝統行事、地域活動への参加

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

Green Power
Green Power Investment Corporation

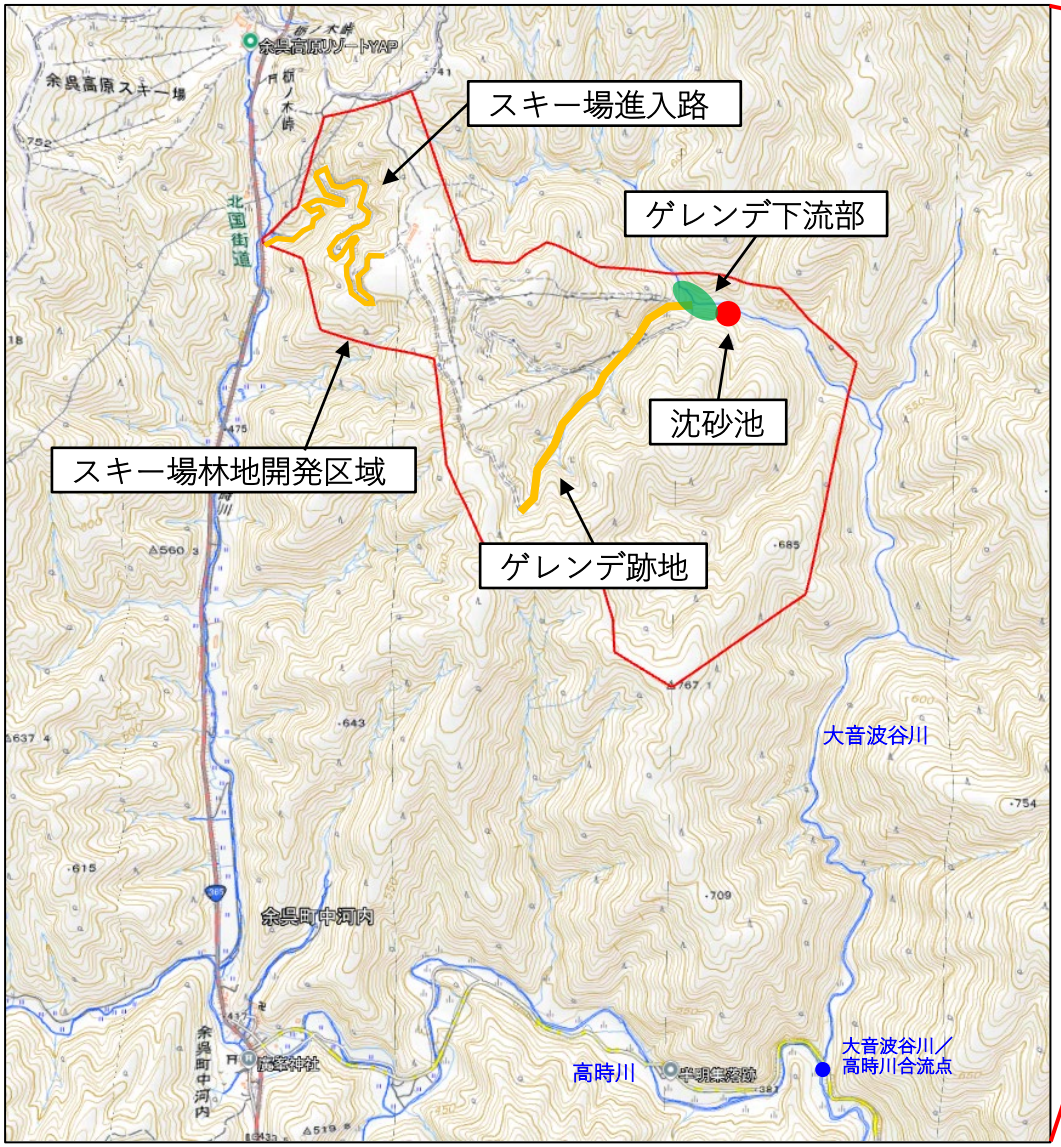
# 02

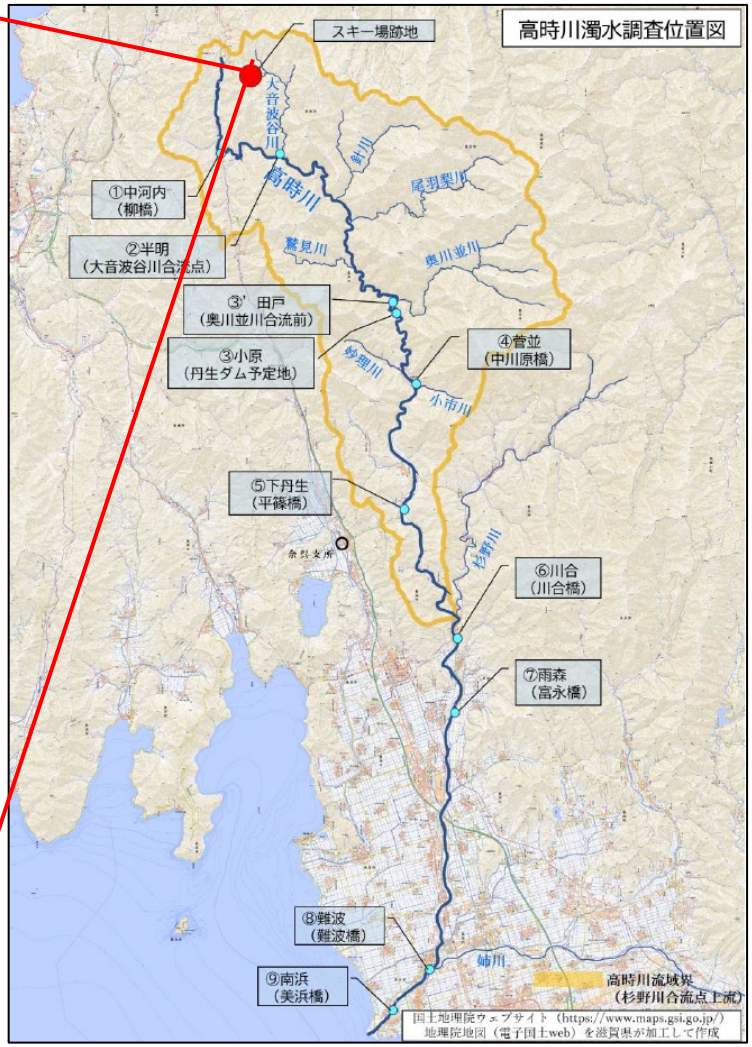
## ベルク余呉スキー場の経緯・対応状況



Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# ベルク余呉スキー場　位置図



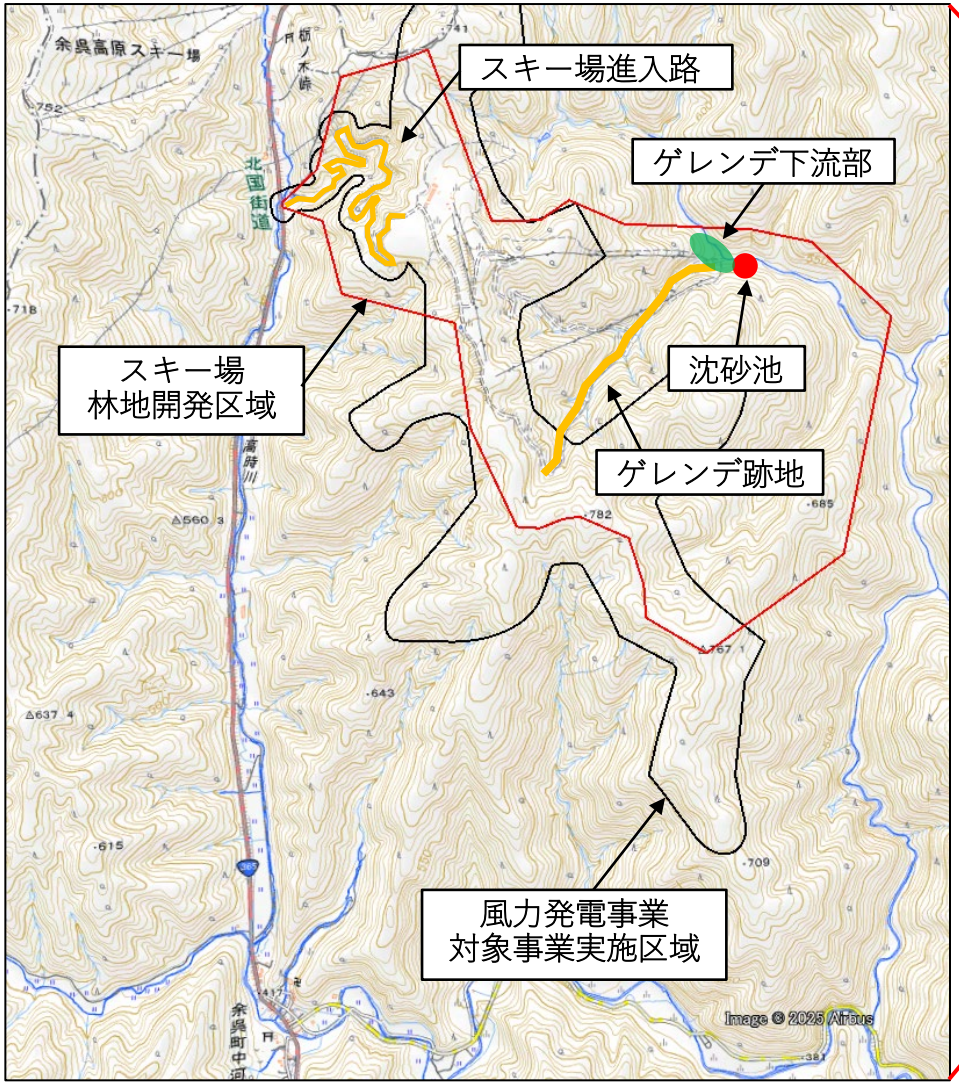



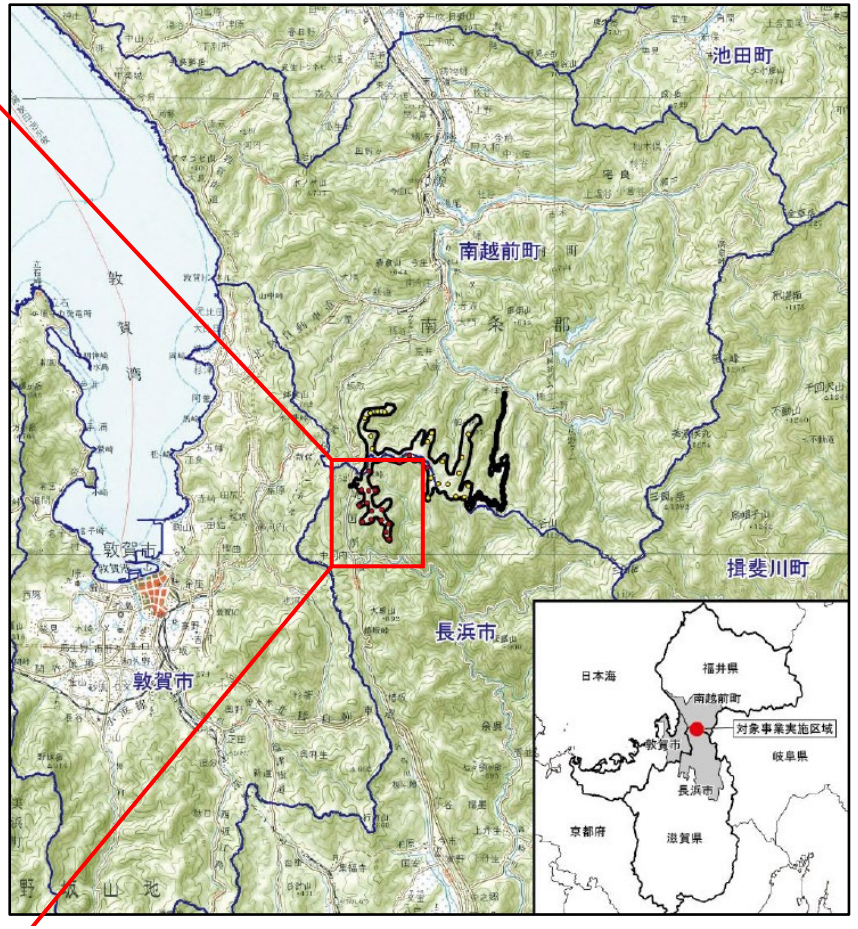

**高時川の流域図**

出典：高時川における長期濁水の原因調査及び対策に関する報告書（本編）

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 計画中の風力発電事業との位置関係




**（仮称）余呉南越前ウィンドファーム発電事業の対象事業実施区域**

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 計画中の風力発電事業との位置関係

※前方のスクリーンをご覧ください。

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 林地開発許可に係る是正対応の主な経緯

**・過去20数年に渡り、旧事業者によるスキー場林地開発許可違反にかかる是正工事が未完了。**
**・地域の問題解決のため、旧事業者に代わってGPIにて2024年12月に是正工事を完了。**

| 時期 | 内容 |
|---|---|
| 1997年 | ・マルア興産（スキー場旧事業者）無許可で森林を開発。<br>→滋賀県がマルア興産に工事の中止勧告と是正指示。 |
| 1999年 | ・防災施設の設置を条件に、滋賀県がマルア観光に林地開発許可を発出。 |
| 2001年 | ・許可区域外でのゲレンデ開発が発覚。<br>→滋賀県が工事の中止を勧告。許可区域外の是正計画書を提出するよう指示。<br>・ベルク余呉スキー場開業。 |
| 2010年 | ・ベルク余呉スキー場閉業。経営難を理由に、是正計画書通りの是正工事は実施されなかった。<br>・マルア興産が倒産。 |
| 2013年 | ・別会社（現在の余呉長浜スキー振興）が林地開発許可の地位を承継。<br>・台風により、ゲレンデが崩落。 |
| 2017年 | ・台風により、是正工事の一部が被災し土砂流出。 |
| 2021年 | ・風力発電事業の検討、及び、本スキー場問題への対処のため、GPIが林地開発許可の地位を承継。 |
| 2022年 | ・5月：GPIより是正工事計画書を県に提出。<br>・6月：GPIにて是正工事を開始。<br>・8月：豪雨により是正工事中の箇所が被災し、工事を一時中断。 |
| 2024年 | ・3月：豪雨災害を踏まえ、是正工事の変更計画書を県に提出。<br>・7月：是正工事・復旧工事を再開。<br>・12月：是正工事等完了。 |
| 2025年 | ・6月：GPIにて補修対応（雪解け後のゲレンデ跡地の素掘り側溝の倒木・U字溝の除去）を実施。<br>・7月：高時川濁水問題に関する報告会（県主催）にて、是正工事完了後の現状説明を実施。<br>・11月：ゲレンデ跡地の補修工事を実施 |

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

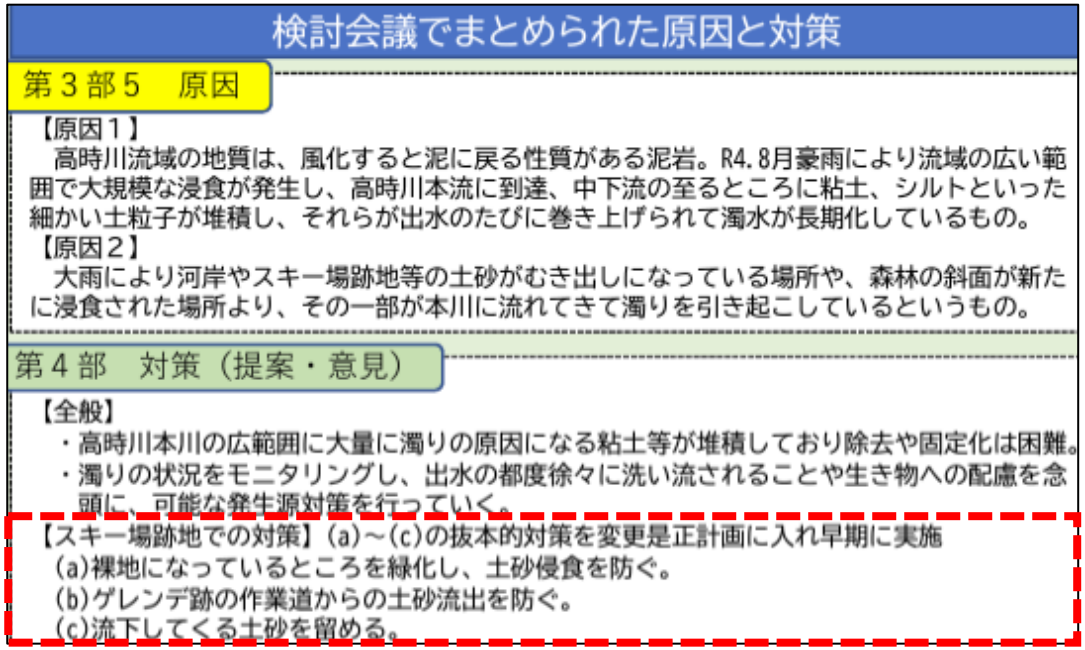
# 2024年に実施した是正工事計画の方針

- 濁水検討会議での議論および県との協議を踏まえ、以下の方針に基づき是正工事計画を策定。
- 2024年３月に是正工事計画を県に提出、同年12月に是正工事を完了。

(a) 緑化による土砂浸食防止：緑化工事

(b) ゲレンデ跡地の土砂流出防止：素掘り側溝の整備及び緑化

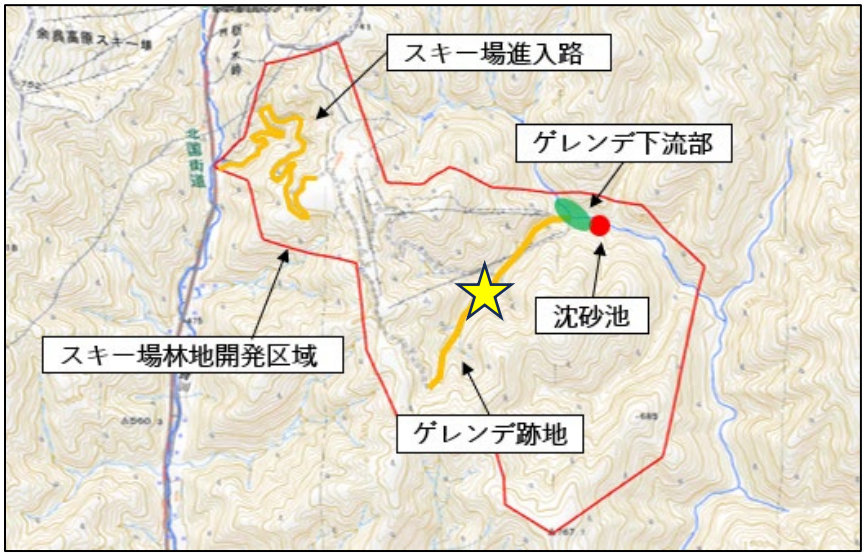
(c) 流下した土砂を留める：袋詰め玉石を堰堤状に設置し、沈砂池の容量を確保




出典：滋賀県「高時川の長期濁水の原因および対策について（概要版）」

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 現地写真　①ゲレンデ跡地




- 2022年8月の豪雨により崩落が発生。
- 2024年に、素掘り側溝の整備・緑化などを実施。
- 2025年の雪解け後に、素掘り側溝内の倒木・U字溝の撤去を実施。



**2022年8月豪雨災害後**



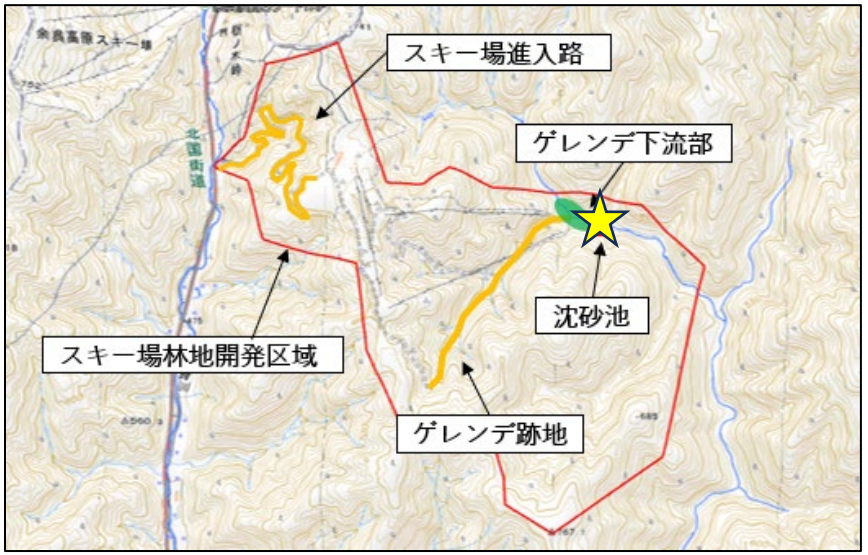
**2024年12月是正工事完了後**



**2025年7月時点**

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 現地写真　③沈砂池




- 2022年8月の豪雨により崩落が発生。
- 2024年に、袋詰め玉石（パワフルユニット）を堰堤状に設置し沈砂池の容量を確保。
- 2025年の雪解けも、パワフルユニットに異常はみられず、沈砂池としての機能を発揮している。



**2022年8月豪雨災害後**



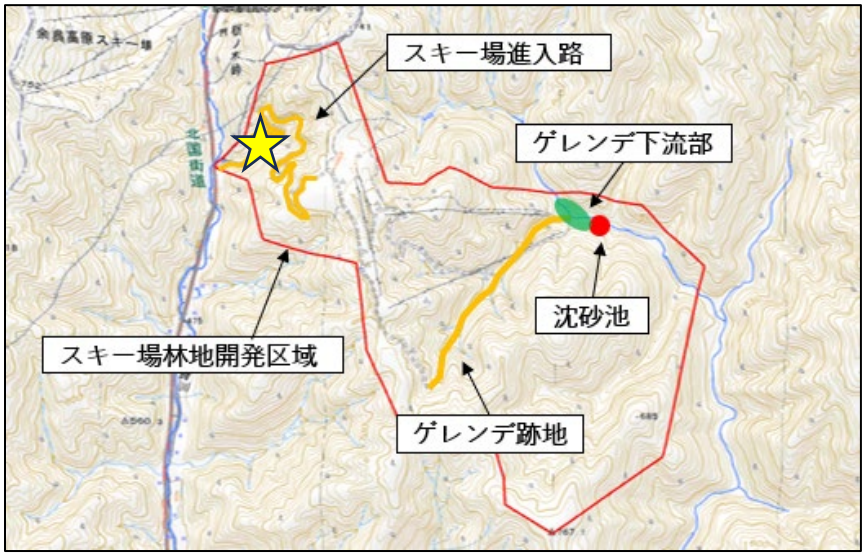

**2024年12月是正工事完了後**



**2025年7月時点**

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 現地写真　④スキー場進入路（復旧工事）




- 2022年8月の豪雨で崩落が発生。
- 2023～2024年にかけて復旧工事を実施。
- 2025年の雪解け後も異常はみられない。



2022年8月豪雨災害後



2024年12月復旧工事完了後



2025年7月時点

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# ゲレンデ跡地における雪解け後の対応①

- 2025年の雪解けの現地確認で、ゲレンデ跡地の素掘り側溝における倒木・崩落したU字溝を確認。
- 素掘り側溝の断面積確保のため、倒木・U字溝を撤去。



**倒木の撤去箇所の例**
**（写真は2025年5月時点）**



**U字溝の撤去箇所の例**
**（写真は2025年5月時点）**

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# ゲレンデ跡地における雪解け後の対応②

- 2025年の雪解けの現地確認で、ゲレンデ跡地の素掘り側溝の浸食を確認。
- 洗堀防止のため、袋詰め玉石（パワフルユニット）による補強・法面の整形を実施。









法面の下段に袋詰め玉石を設置し、
浸食防止措置を施したうえで、
法面を整形

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

Green Power Investment Corporation

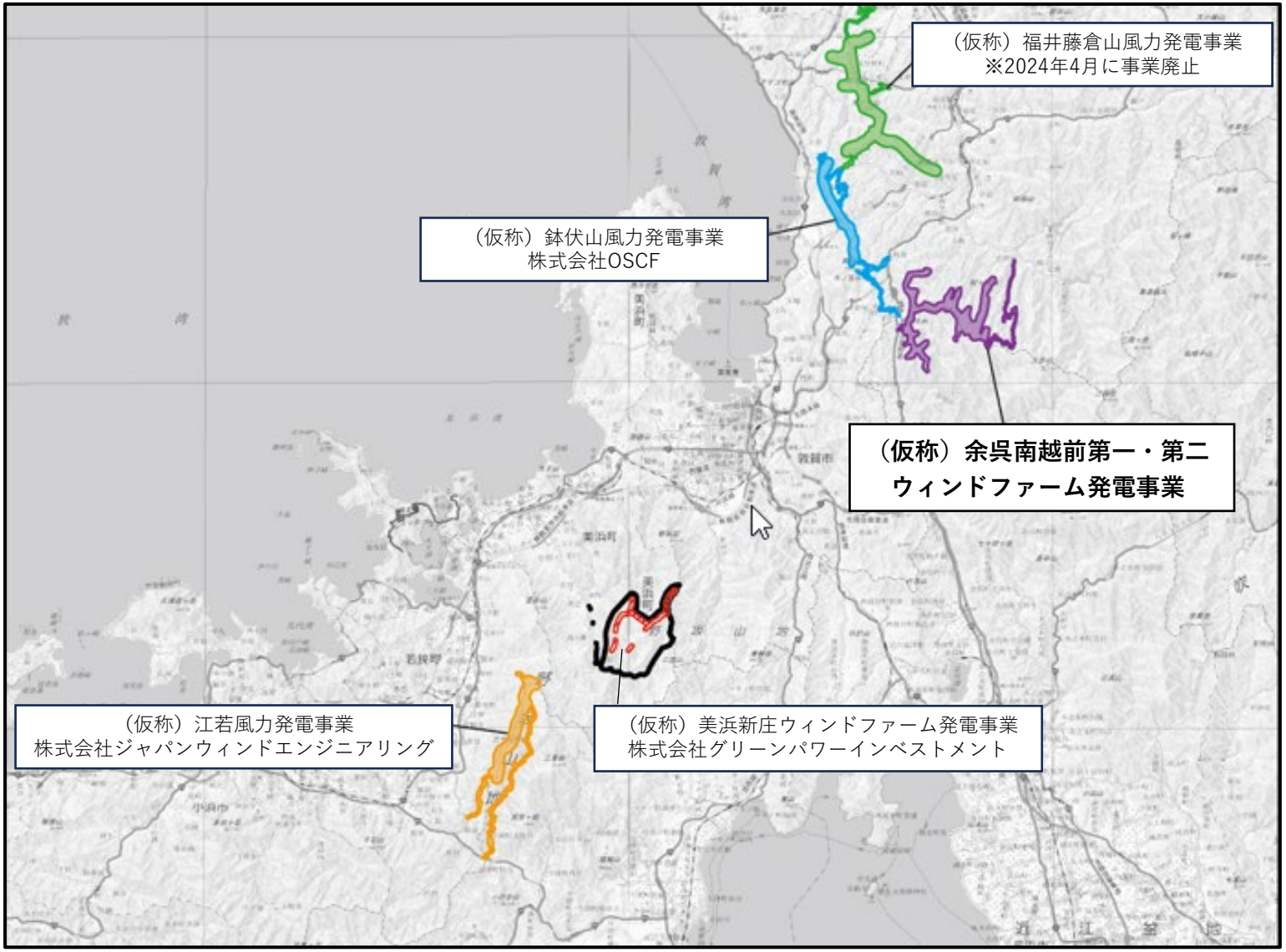
# 03

# 事業計画概要



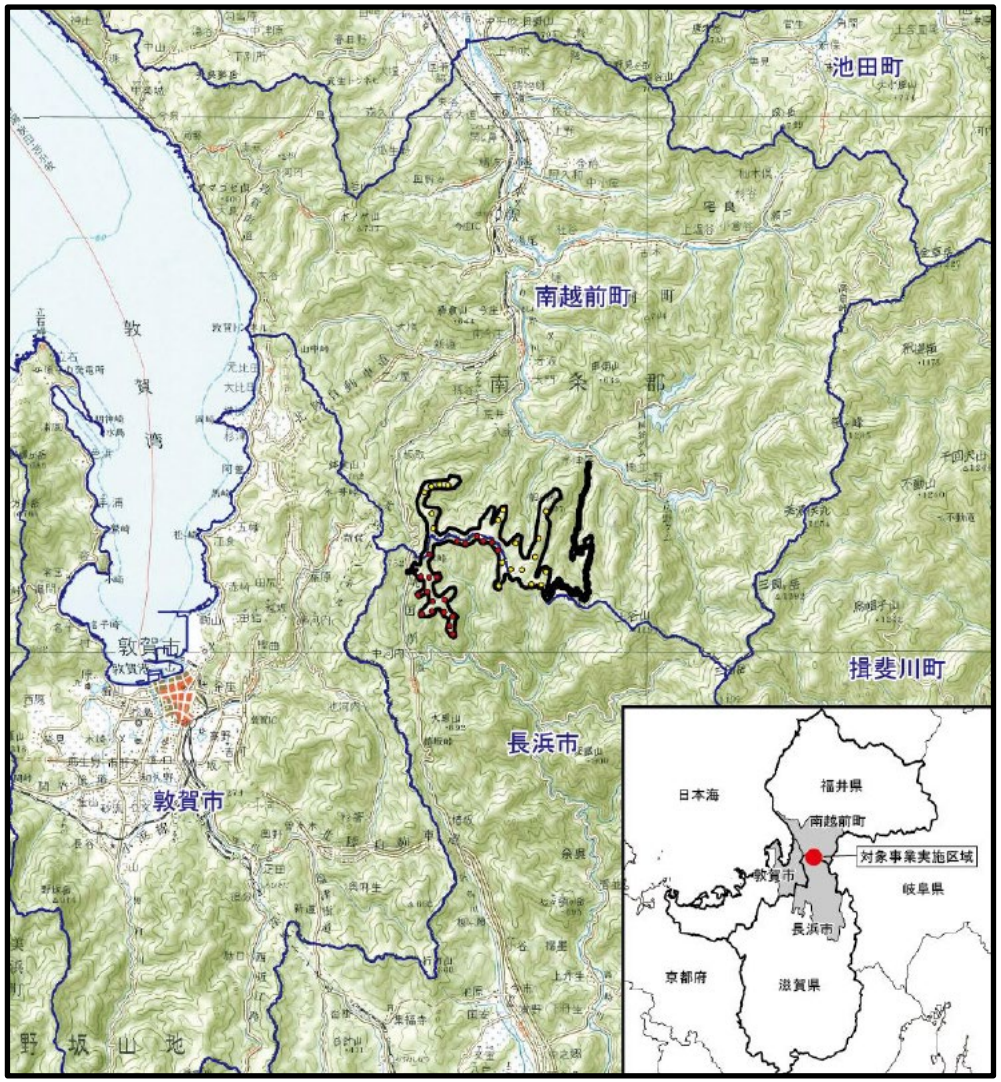
Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 計画位置図・周辺他事業




Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 計画概要




- 発電所出力：163,800kW
  - 第一事業：84,000kW
  - 第二事業：79,800kW

※ 第一事業と第二事業に分け、それぞれ、北陸電力と関西電力に売電する計画

- 1基あたり出力：4,200kW
- 風車基数：39基

※現在、配置計画および改変面積を見直し中

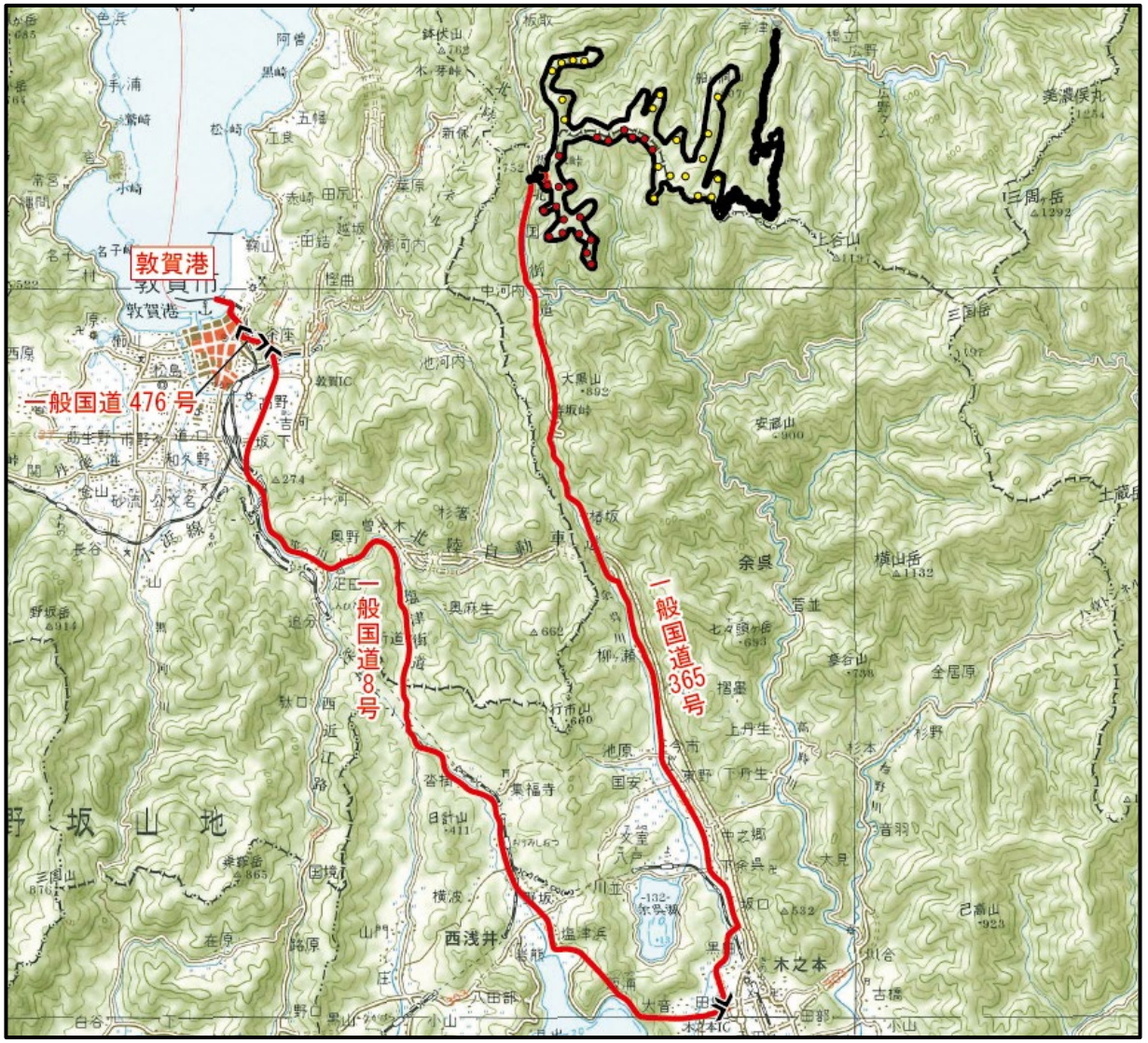
凡　例

- 対象事業実施区域
- 風力発電機（第一事業）
- 風力発電機（第二事業）
- 行政界

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 風力発電機の輸送ルート

風力発電機の輸送は敦賀港で水揚げし、
国道476号、8号、365号を通り、
計画地に至るルートを検討しています。



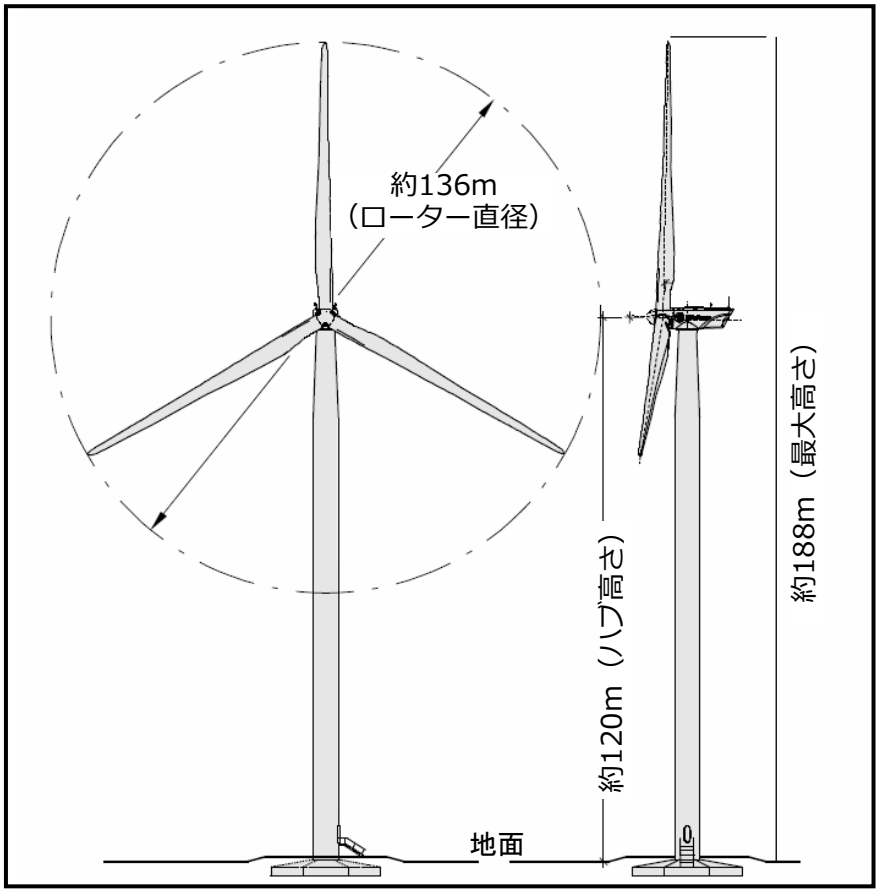

<凡例>
- ： 対象事業実施区域
- ： 風力発電機（第一事業）
- ： 風力発電機（第二事業）
- ：風力発電機の輸送ルート

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 風力発電機の概要

○導入を検討している風力発電機の概要（予定）

| | |
|---|---|
| 定格出力 | 4,200kW |
| ブレード枚数 | 3枚 |
| ローター直径<br>（ブレードの回転直径） | 約136m |
| ハブ高さ<br>（ブレードの中心の高さ） | 約120m |
| 最大高さ<br>（ブレード回転域の最大高さ） | 約188m |

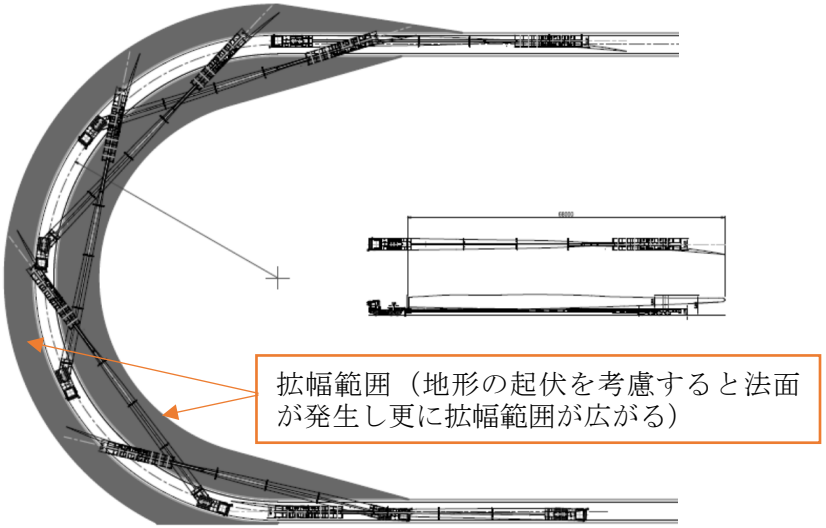



Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 主な環境への配慮の取り組み（改変面積の低減①）

新設道路建設に伴う地形改変や伐採を低減するため、
風車のブレード輸送に起立装置付き特殊トレーラーを採用する計画です。

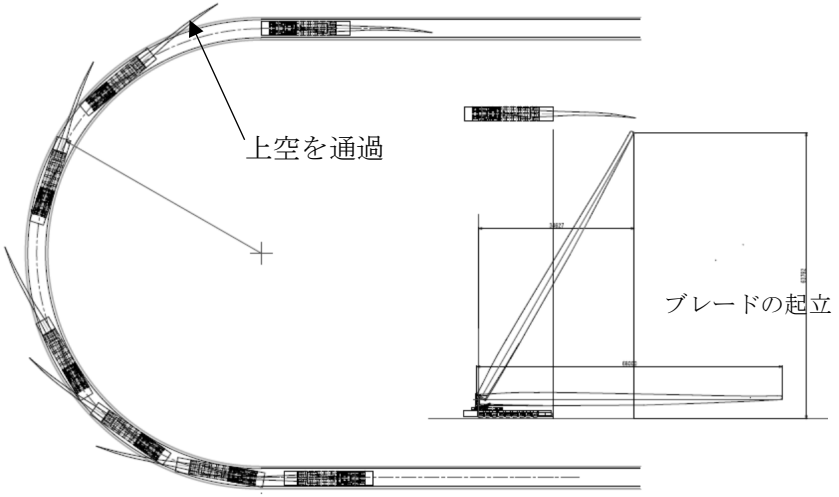
通常のトレーラーの場合








起立装置付き特殊トレーラーの場合








※弊社施工現場参考事例

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 主な環境への配慮の取り組み（改変面積の低減②）

風車組立ヤードの敷地造成に伴う地形改変や伐採を低減するため、
空中で1枚ずつ組み立てる方法を採用する計画です。

ブレード３枚を地上で組んで取り付ける場合



ブレードを1枚ずつ空中で取り付ける場合



※弊社施工現場参考事例（どちらも同じ規格の風車）

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 04

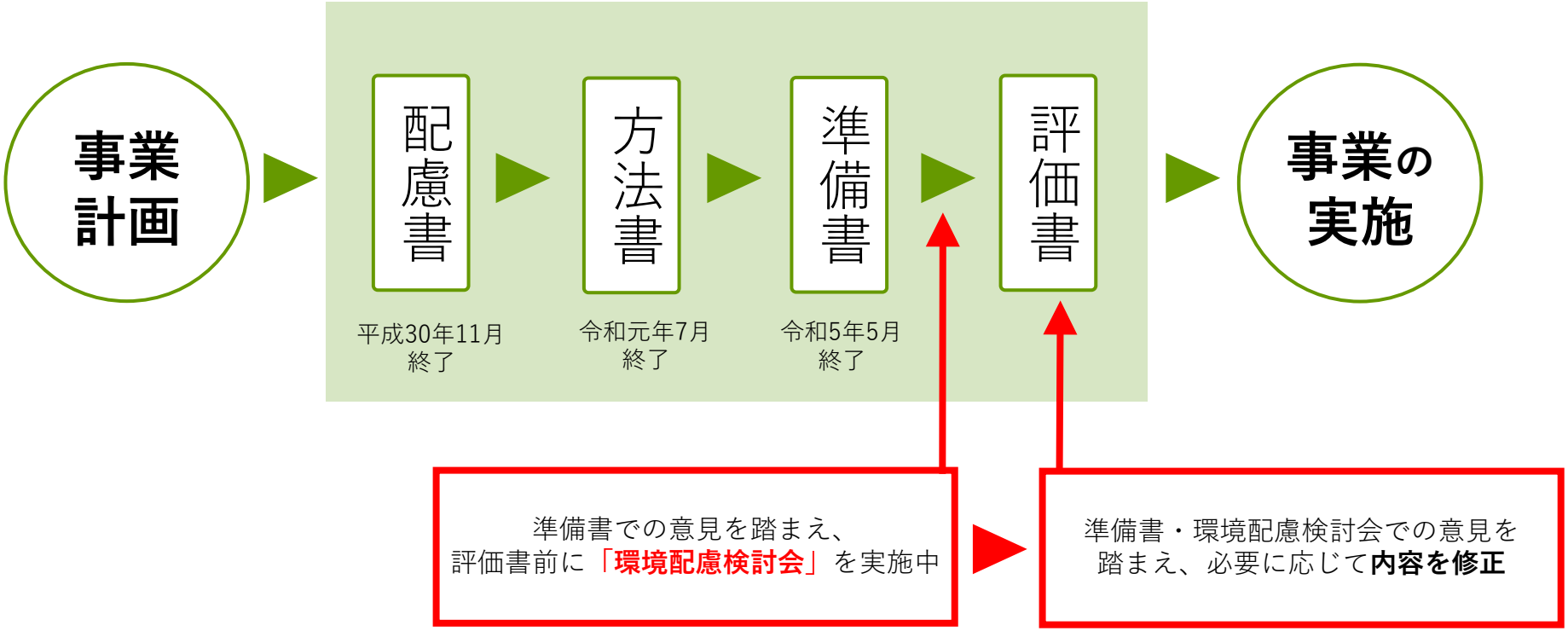
# 環境アセスメントの対応状況



Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 環境アセスの対応状況

事業の実施に当たり、**環境影響評価法**に基づき、
**環境への影響を評価**し、住民の皆様、地方公共団体などからの
ご意見を聴き、それらを踏まえて**影響をより小さくする**ための
対策を講じていく手続きです。




Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 経済産業大臣勧告と環境配慮検討会の設立について

## 環境影響評価準備書に対する経済産業大臣勧告（2023.5.19）

対象事業実施区域が位置する場所の重要性を理解

抜本的な事業計画の見直し

・十分な環境配慮
・地域の理解

### 検討に当たっては

専門家等からの助言を受け科学的に検討

その経緯を公開

客観性
透明性
を確保

## 環境配慮検討会

鳥類・植生等を中心とした専門家による環境配慮・事業計画見直しの検討

座長

環境配慮・事業計画の見直し検討

委員　委員

・検討会資料の作成
・検討内容の整理

事務局
（株）ポリテックエイディディ

GPI
環境アセスメントグループ

GPI　開発グループ

環境アセスコンサル

・これまでの経緯
・アセス図書の内容

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 環境アセスの対応状況

令和元年7月　方法書時レイアウト（風車50基）

令和5年5月　準備書時レイアウト（風車39基）

・経産大臣勧告、県知事意見において、特に希少猛禽類、重要な植物等への環境配慮・事業計画の見直し検討の必要性が示された。

令和6年3月　鳥類・植生等の専門家で構成した「環境配慮検討会」を設立

令和6年7月　第1回環境配慮検討会

・配置計画見直し　たたき台案を提示

現在

検討会委員へのヒアリング

・過去にいただいたご意見の整理
・調査・解析結果（状況）の報告・確認

アセス以外の条件の検討

・森林法、盛土規制法等の許認可
・風況、用地、施工性等の検討

諸条件を踏まえ、レイアウトを再検討

開催時期検討中　第2回環境配慮検討会

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 配置計画見直し　たたき台案（第1回環境配慮検討会提示）

【たたき台案の考え方】

環境配慮の検討に向け整理

→発電機、ヤードの位置等は検討中

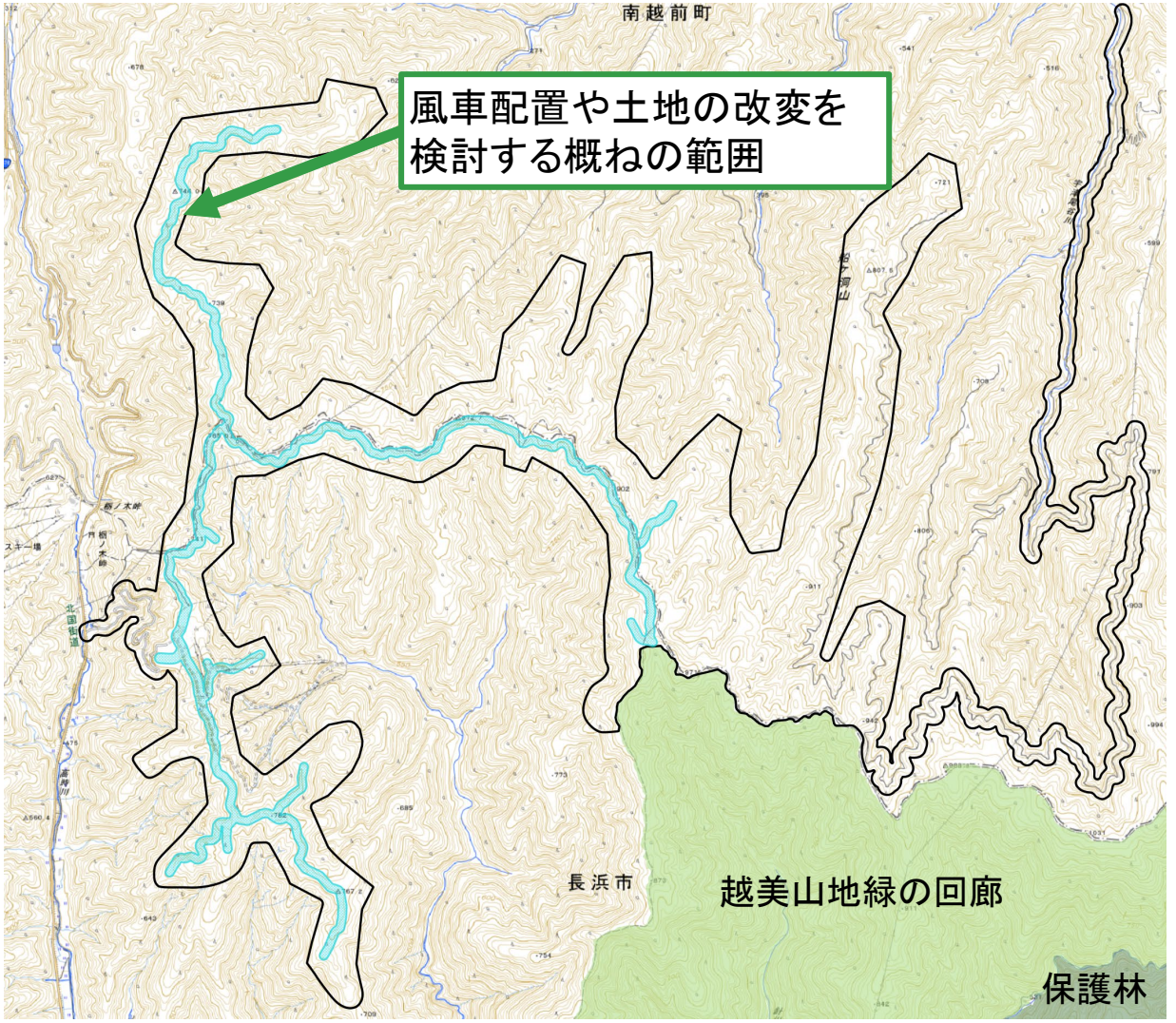
【たたき台案の概要】

- 環境影響の軽減を図るため、発電機数を39基から減少させる
- 対象事業実施区域内の良好なブナ林と越美山地緑の回廊の連続性を確保するため、対象事業実施区域東側の改変を回避
- 営巣中心域に近接する場所への発電機の配置の取りやめ等により、周辺のクマタカの営巣環境への影響を極力回避・低減

【たたき台案の取扱い】

- 検討会でのご意見を反映していく
- 発電機、ヤードの位置等の詳細検討

　⇒　計画素案として提示

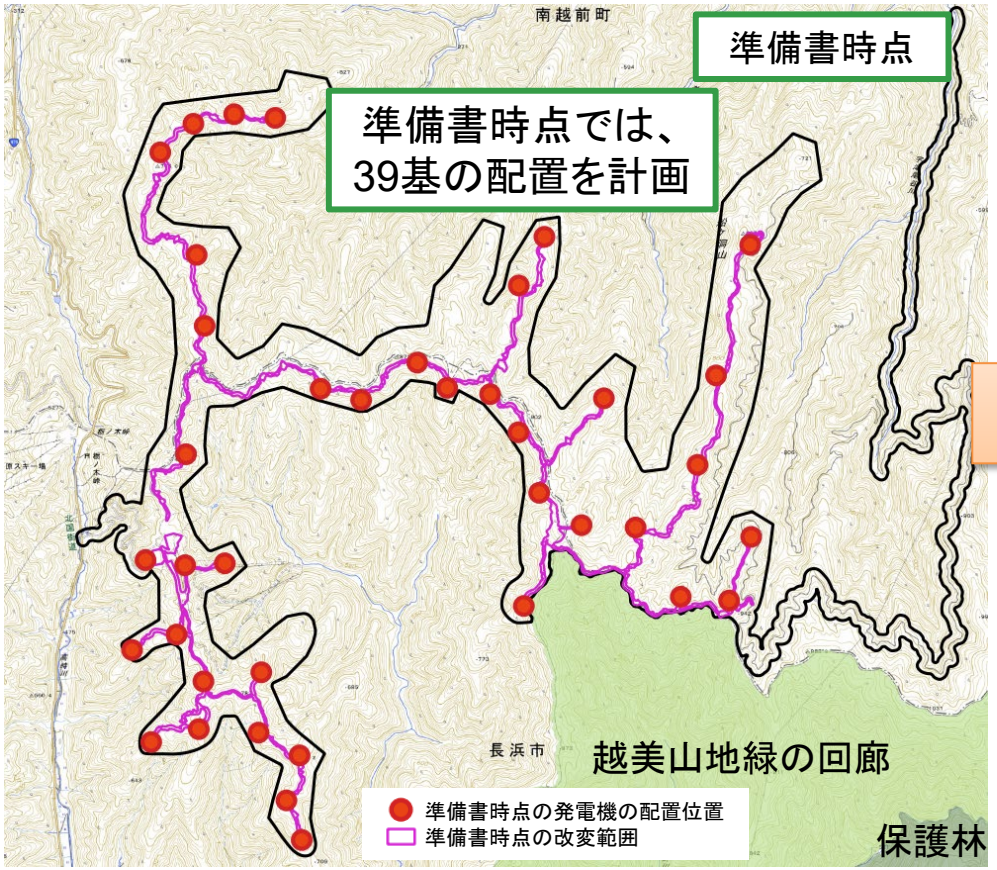


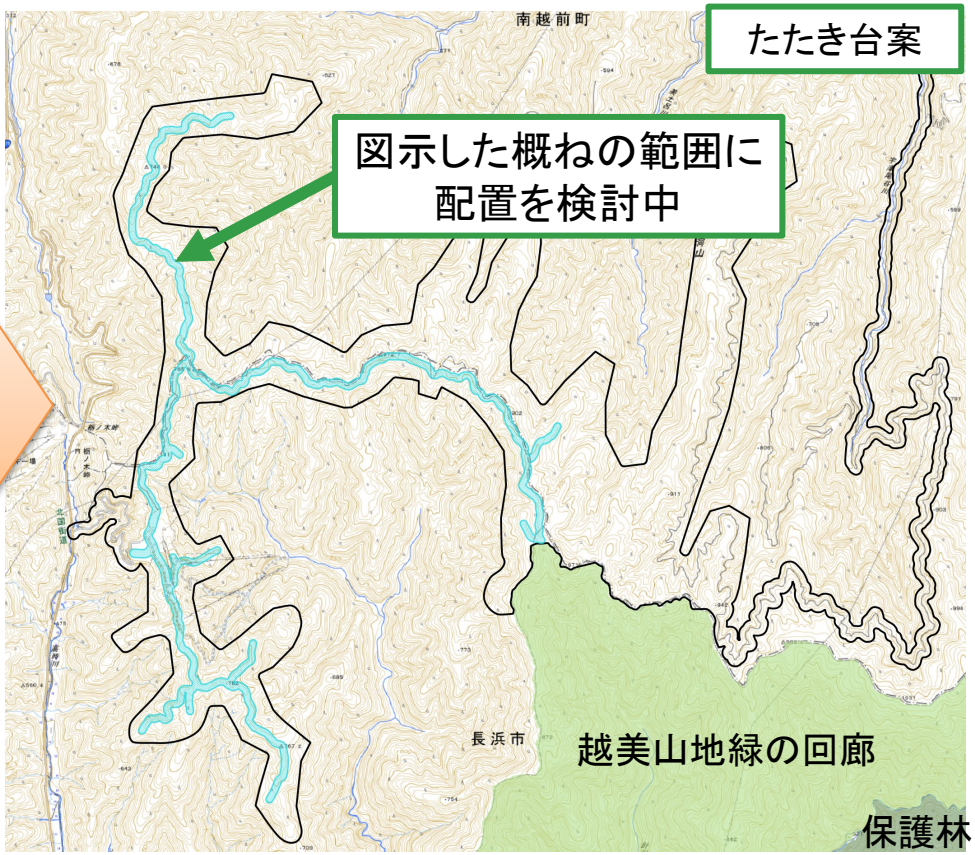

※　検討を進める段階において、配置を計画する範囲が変わる可能性があります。

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 配置計画見直し　たたき台案（第1回環境配慮検討会提示）

- 本事業による環境影響の総量を削減するため、設置する発電機を39基から減少させる



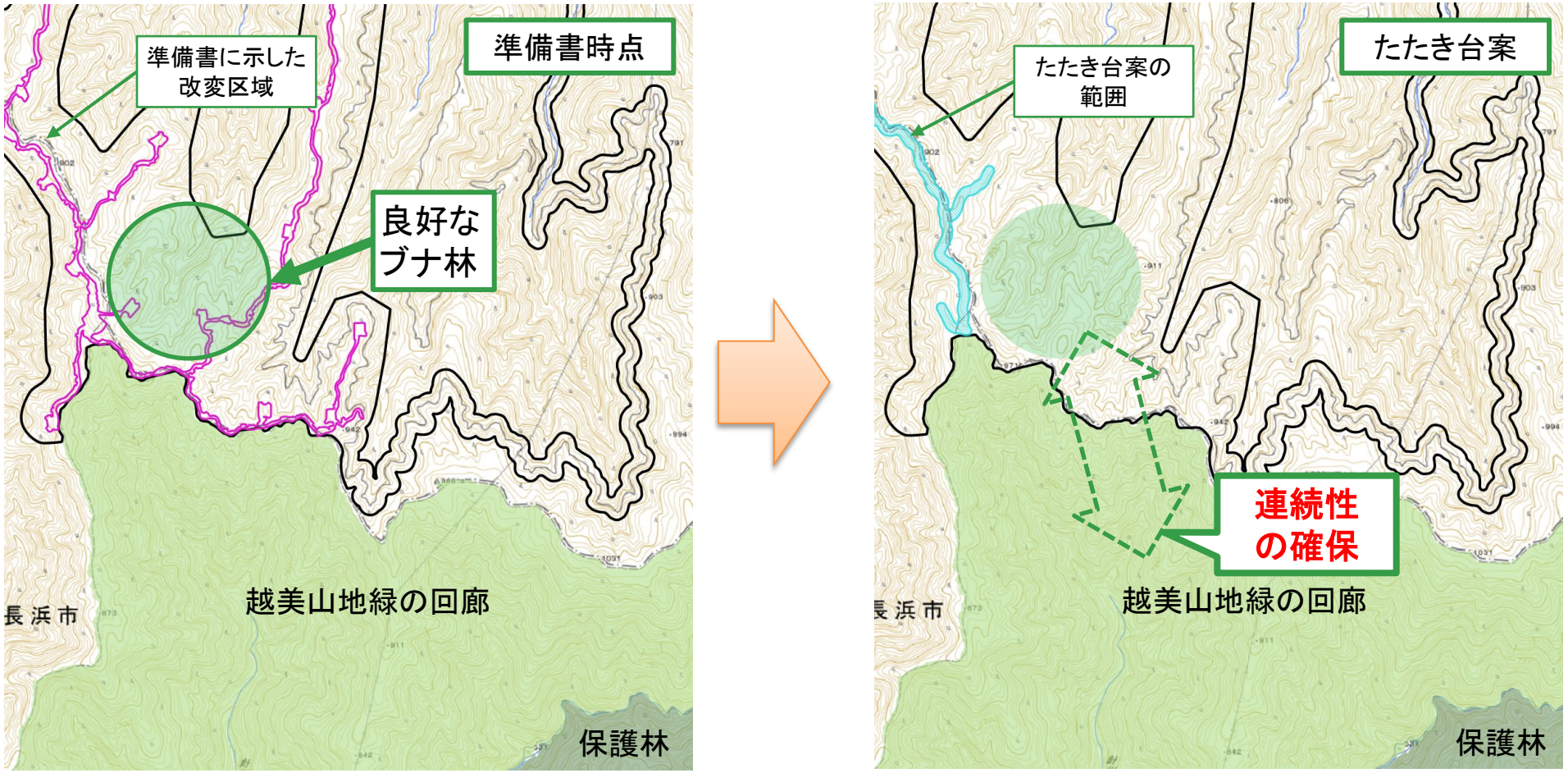




※　検討を進める段階において、配置を計画する範囲が変わる可能性があります。

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

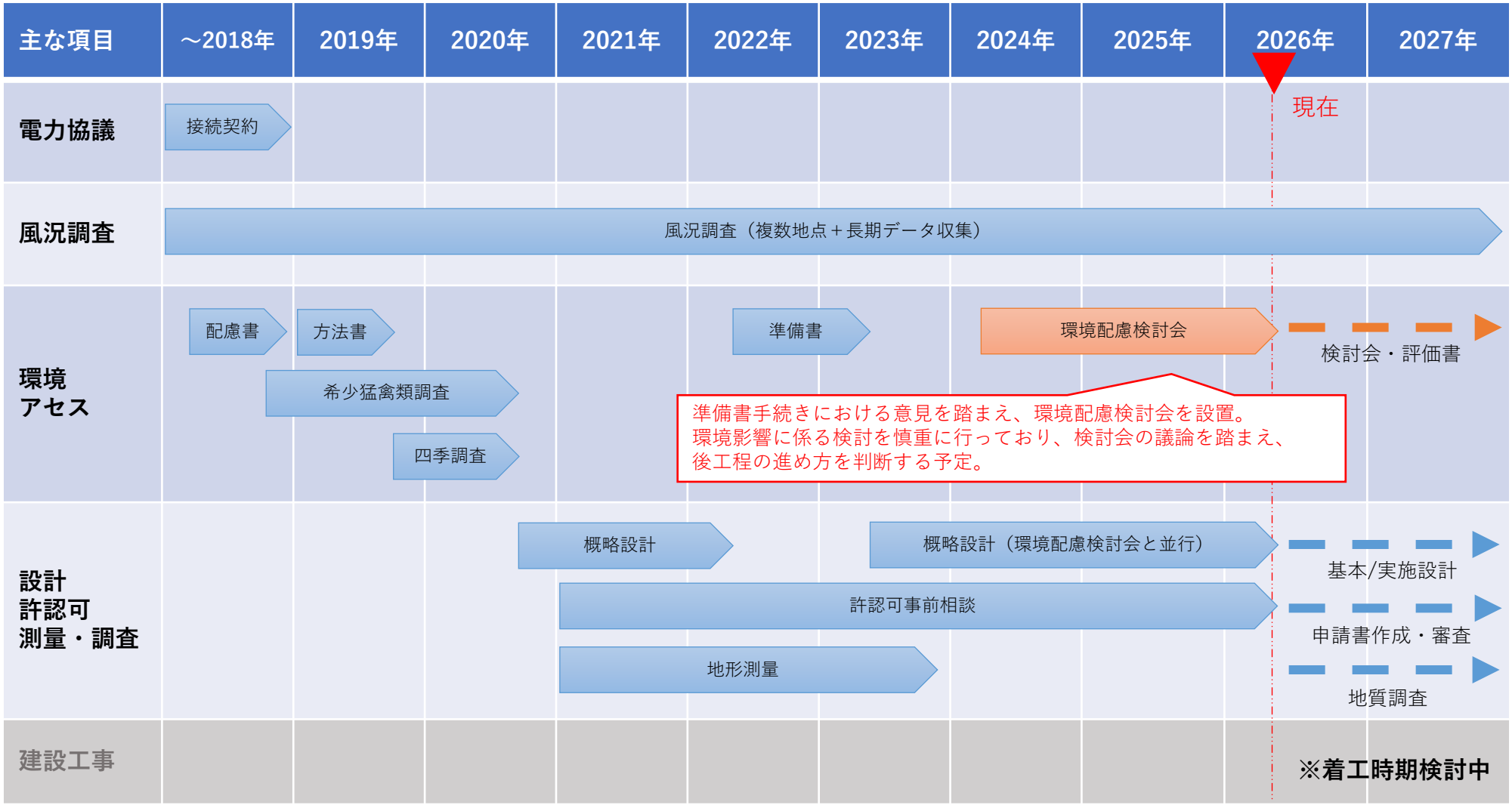
# 配置計画見直し　たたき台案（第1回環境配慮検討会提示）

- 越美山地緑の回廊と対象事業実施区域内の良好なブナ林との連続性を確保するため、対象事業実施区域東側の改変を取りやめ




Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# これまでの経緯と今後の予定について




（注）現地調査や許認可協議等の状況によって、上記スケジュールは変更になる可能性があります。

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 風車の耐用年数経過後の方針について

風力発電機の耐用年数につきましては２０年となりますが、日々のメンテナンス（※）をしっかり行っていく中で、必要に応じて部品等の交換、全体の建替え（リプレイス）も含め、運転を継続していく計画です。

※風力発電機は定期点検及び国による検査が法律でも定められており、日々のパトロールや目視確認、遠隔監視、消耗品の交換等を行うことで、風力発電機が安全な状態で運転することを維持します。



【20年後以降も運転継続していく理由】
- 輸入に頼らない、枯渇しない純国産エネルギー
- 2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指す
- ますます高まるグリーン電力の需要（電気自動車など）

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# まとめ

## 【ベルクスキー場跡地の是正工事は完了】

・旧スキー場跡地における是正工事（復旧工事）は2024年に完了しており、
現在は**風力発電事業に係る林地開発許可**について、**滋賀県と協議を継続中**です。

## 【環境への配慮を踏まえ、配置計画を見直し中】

・環境アセスメントに基づき、**環境配慮検討会にて風車の配置計画を見直し中**。
次回の検討会の開催時期については、**現在調整中**です。

## 【着工時期は未定、検討段階】

・配置計画が確定していないため、**風車の建設着工時期は現時点では明確に定まっておらず**、
関係機関との協議や検討を進めている段階です。

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

# 紹介動画

現在稼働している他案件の紹介動画をご覧ください。

グリーンパワー深浦風力発電所（青森県）

- 発電所出力：79,800kW
- 風車定格出力（1基）：4200kW
- 風車台数：19基
- 運転開始：2024年2月




Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.

株式会社グリーンパワーインベストメント
南越前町オフィス

南条郡南越前町今庄71-14-1
電話（0778）45-0327

Green Power Investment Corporation © All Rights Reserved.